

5年梅組 算数「計算のきまりを見直そう」略案

指導者 安齋 知子

- 1 日時 平成20年8月27日(水) 5校時(13:35~14:20)
- 2 本時のねらい アレイ図をもとにしてかけ算の計算のきまりを見直し、それをもとに(分配法則, 結合法則)計算をすることができる。
- 3 本時の実際

| 時間 | 学習活動と児童の動き | 教師の支援及び評価 | センターの先生の支援 | 備考 |
|-------|--|---|--|------------------------|
| 13:35 | 1 問題を把握する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○と●は、全部で何個ありますか。</p> <p style="text-align: center;">●●●●●</p> <p>○○○○○●●●●●</p> <p>○○○○○●●●●●</p> <p>○○○○○●●●●●</p> </div> | ◇かけ算の計算では、知っている決まりと便利さを想起させる。 $\square \times \bigcirc = \bigcirc \times \square$ $(\square \times \bigcirc) \times \triangle = \square \times (\bigcirc \times \triangle)$ ◇新しい計算のきまりを見つけるために、1つの式に表して、答えを求めることを条件として確かめる。 | ◇算数博士として登場。博士からの挑戦状として、問題を提示する。まずは、アレイ図から読み取れる数値を強調する。 | 問題提示を受けて、板書にアレイ図を張り出す。 |
| 13:33 | 2 学習課題をつかむ。 <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>かけ算の計算には、どんな決まりがあるのだろう。</p> </div> | | | |
| 13:35 | 3 自力解決し、自分の考えをもつ。 A $3 \times 5 + 4 \times 5 = 35$ B $(3+4) \times 5 = 35$ 共にアレイ図 略 | ◇アレイ図への数値の書き込みをすることで、立式の根拠を明らかにしていく。 ◇一つの方法でできた児童には、別の方法で解くことを勧める。 | ◇二通りともできた児童への対応として、発展の支援をする。 | |
| 13:47 | 4 アレイ図をもとに情報交換をする。 $3 \times 5 + 4 \times 5 = (3+4) \times 5$ | ◇1つの式で表すことにとまどっている児童には、2本の式でもまずは解くことを勧める。 ◇数値の書き込みしたアレイ図を提示し、どんな式を作ったのかで他者説明をし合う。 | ◇かけられる数を分けてみることで2つのかけ算にできることに気づけるような補助発問をする。 | |
| 13:57 | 5 本時のまとめをする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>$(\square + \bigcirc) \times \triangle = \square \times \triangle + \bigcirc \times \triangle$</p> <p>$(\square - \bigcirc) \times \triangle = \square \times \triangle - \bigcirc \times \triangle$</p> </div> | ◇ $(7-3) \times 5 = 7 \times 5 - 3 \times 5$ のアレイ図を提示し、ひき算でも確認する。 | | |
| 14:03 | 6 定着問題に取り組む。 | ◇計算のきまりに合わせてアレイ図を書く、計算、かけ算の筆算への適用の3問からチェック問題を構成する。 ミスのあった児童に、補助問題を与える。 | ◇チェック問題をクリアした児童に発展問題を与える。 | |
| 14:17 | 7 振り返りをする。 | ◇振り返りの視点を与えて習得したことに触れられるようにする。 | | |